

主催

一般社団法人彩都ヒルズクラブ、近畿財務局
大阪バイオ・ヘッドクオーター

きんざいNEWS VOL.155
令和7年12月4日

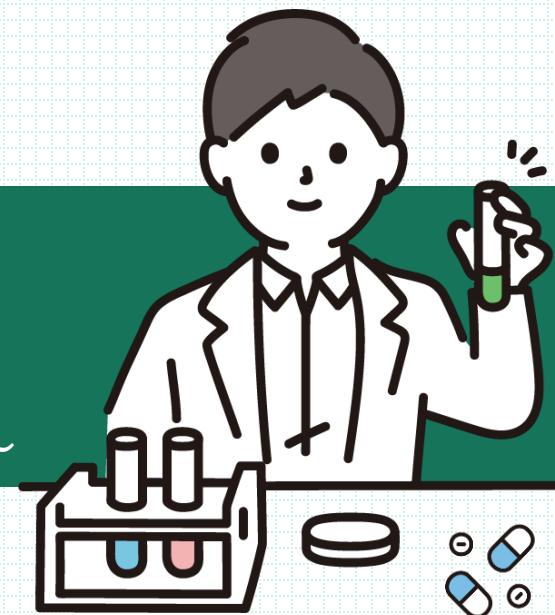
スタートアップ支援に向けて、
セミナーを開催しました！

研究開発型スタートアップのための
企業価値を担保に資金調達する方法

～2026年5月施行「事業性融資推進法」のあらまし・その活用術～

令和7年10月15日（水）14:00～15:30

近畿財務局 金融総括課



1 | 開催の経緯とセミナーの狙い

開催経緯

- ◆ 国内のスタートアップ企業数・資金調達額が東京に集中する中、近畿財務局として近畿地域のポテンシャルを活かしたスタートアップ支援や資金調達の後押しできないかと考え、彩都バイオインキュベーション施設と連携したスタートアップ向けセミナーを企画。
- ◆ 同施設から「事業性融資推進法（企業価値担保権）はスタートアップの新たな資金調達の選択肢となり得る。詳しく知りたい人が多い。」と話があったことから、スタートアップ企業及び支援機関等を対象とした「事業性融資推進法」に関するセミナーを開催（令和7年10月15日）。

彩都ライフサイエンスパークの概要



彩都
ライフサイエンス
パーク

整備：中小機構
運営：バイオ・サイト・キャピタル
ラボ：32室
開設：2004年7月



彩都バイオイノベーション
センター

整備：中小機構
運営：バイオ・サイト・キャピタル
ラボ：18室
開設：2008年10月



彩都バイオヒルズセンター

整備：八洲薬品株式会社
運営：バイオ・サイト・キャピタル
ラボ：9室
開設：2006年4月

(出所：大阪府HP)

- ◆ 「彩都ライフサイエンスパーク」は、北大阪地域（茨木市、箕面市）に位置する、研究機関（医薬基盤・健康・栄養研究所、日本赤十字社近畿ブロック血液センター等）やインキュベーション施設等が集積する、創薬・ライフサイエンス的一大拠点。
- ◆ 中小企業基盤整備機構等が整備した3棟のインキュベーション施設が立地。ベンチャーキャピタルが3施設を一括借り上げすることで、研究開発の「場」の提供（ラボ事業）と、「成長資金」の提供（VC事業）の両輪からスタートアップをサポート。

セミナーの狙い

【問題意識① スタートアップ支援】

- ✓ 国内のスタートアップ企業は東京に集中しており、また資金調達額も東京に集中。スタートアップ企業に対して、地域のポテンシャルを活かした事業成長の後押しや、資金調達支援が急務。

【問題意識② 事業性融資推進法の周知】

- ✓ 「事業性融資の推進等に関する法律」が令和6年6月に成立。来年5月の同法施行に向けて、金融機関及び事業者等に対して広く周知・広報が必要。

【セミナーの狙い】

- ✓ スタートアップ企業や支援機関等に対して、事業性融資推進法の趣旨や活用方法等の周知を図り、スタートアップにおける資金調達を後押しする。

2 | 開催模様・講義内容・参加者の声



開催概要

日時	令和7年10月15日（水）14:00～15:30
形式	対面開催+Web
主催	一般社団法人彩都ヒルズクラブ、近畿財務局、大阪バイオ・ヘッドクオーター
参加人数	約70名（オンライン参加を含む）
参加者の属性	スタートアップ企業、金融機関、大学・研究施設、官公庁、各種支援機関 等



※セミナーの開催案内



プログラム

第一部	講師：金融庁 監督局 総務課 事業性融資推進室長 講演タイトル：「ベンチャーデットと企業価値担保権」
第二部	講師：日本政策金融公庫 国民生活事業本部 大阪スタートアップサポートプラザ 所長 ほか 講演タイトル：「シード・アーリー期におけるスタートアップの資金調達」

事業の将来性に着目した新制度
(企業価値担保権) の説明に加え、
日本政策金融公庫の既存のスタートアップ
支援策についても解説！

参加者の声

※アンケート結果から抜粋

- ✓ 伴走支援を行っていく上で、企業価値担保権に係わらず事業性評価に対する金融機関の目利き力の強化は必須だと感じた。（金融機関）
- ✓ 企業の成長度合いに応じて金融機関も支援の体制を整備していくべきと強く感じた。（金融機関）
- ✓ 実際、どのように企業価値担保権の担保価値を見出すかは難しい面もあると思うが、事業性評価の観点を持つことが、バンカーにも支援機関にも必要であると感じた。（支援機関）
- ✓ これまでの融資慣行を改め、企業価値担保権を活用した融資が広がることを期待する。また、ベンチャーキャピタルと共同・協調した融資推進の話が印象に残った。（支援機関）